

令和4年度 第1回多摩市子ども・子育て会議 会議録

- 1 日時 令和4年5月18日(水) 18:30~20:15
- 2 場所 多摩市役所 301・302会議室
- 3 出席者 立花委員(会長)、高岡委員(副会長)、関岡委員、中山委員、石川委員、卜部委員、麻生委員、島田委員、安藤委員、高橋委員、早津委員、松本委員、宗宮委員
※欠席者：酒井委員、佐藤委員

4 開会

- 会長 令和4年度第1回多摩市子ども・子育て会議を始めます。本日の出席者を確認させていただきます。
- 事務局 本日の出席者は15名中13名で過半数を超えており、多摩市子ども・子育て会議設置条例第7条の規定により会議は成立します。
今回の会議でも、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じての開催となります。皆様のご協力をよろしく申し上げます。
次に、令和4年4月1日付け人事異動に伴い、事務局職員が変更となっておりますので紹介させていただきます。
(子育て支援課 子ども家庭支援センター長挨拶)
(子育て支援課 計画推進・保育担当主査3挨拶)
(児童青少年課 児童青少年担当主査1挨拶)
(児童青少年課 児童青少年担当主査2挨拶)
- 会長 では、次第に沿って進めさせていただきたいと思います。
- 事務局 はじめに、配布資料の確認をさせていただきます。
(配布資料の確認：報告資料1~7)

5 報告

【報告事項】

(1) 待機児童数一連報告

- 会長 それでは、報告事項1について事務局よりご説明をお願いいたします。
- 事務局 (報告資料1-1~1-6の説明)
- 会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
- 委員 子どもの減少と児童施設に空きが生じていることは、児童施設の運営に関わる問題であり、多摩市全体の人口推計を考えると大きな課題だと思う。第二期多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略にて合計特殊出生率は全国平均1.36を大きく下回る1.15であり、50年後には現在の人口から32%減少し、5人に2人が高齢者になると推計されている状況で、子育てにやさしいまちの実現に向けたシティセールスをどのように行っていくのでしょうか。
- 事務局 少子化は全国的な問題であり、多摩市としても非常に大きな課題と捉え、組織横断的に検討を行っております。
多摩市の合計特殊出生率は多摩地域26市の中で一番低い状況であり、また、就職

時に転出することによって、20～30代が極端に少ない状況です。子育て世帯に移住していただくにあたり、保育所や幼稚園に空きがあり希望すればいつでも利用できる環境はアピールポイントになりますが、加えて子育て世帯が定住できる住宅施策を行っていく必要がありますので、民間企業や公的な住宅事業者とも連携して、取り組み方法を検討しております。

○委員 地域や年齢によるミスマッチの問題について、どのように解決するのでしょうか。また、少子化が進むことで事業者が撤退するのではないかという懸念については、どのようにお考えでしょうか。

○事務局 ミスマッチにより待機となっている方に対しては、定期利用保育、登園可能な認可保育所や認証保育所等のご案内を行い、待機児童解消にあたっております。

保育所を運営している事業者とは定期的な連絡会を開催しており、撤退を申し出ている事業者はありませんが、小規模保育事業所については、定員が埋まらない状況が継続するようであれば検討したいという話はございます。

○委員 多摩市は市民の声を反映してくれるので、子育てに困っている世帯の声を反映した実例を紹介すれば、子育て世帯の定住につながるのではないのでしょうか。

○事務局 反映まで時間がかかることはありますが、市民の声に耳を傾け、市民とともにまちづくりを推進していくという市長の方針の基、取り組んでまいりました。市民周知方法については、今後検討してまいります。

○委員 多摩市は公式ホームページでの情報発信が奥まっているので、改善していただきたい。

○事務局 広報担当部署が広告代理店を招き、情報発信体制を整えております。多摩市の子育てサービスは標準以上であると認識しておりますので、良い部分を発信できるようにしてまいります。

(2) 令和3年度子ども家庭支援センターの相談状況について

○会長 それでは、報告事項2について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (報告資料2の説明)

○会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

○委員 相談状況の件数や推移をどのように捉えているか教えてください。

○事務局 件数が増加していることについては、認知の広まりにより、虐待を早期に発見するアンテナが高くなっているものと捉えております。

○委員 虐待相談や障害相談が増加している中で、問題を抱えている家庭を地域全体で支えられるように、関係機関との連携を行い、子ども家庭支援センターとしての役割を果たしてください。

○事務局 市全体で支えられる仕組みができるよう取り組んでまいります。

○委員 全国的に虐待等が増加している報道がされているが、多摩市は他市と比較して多いのでしょうか。人口推計や地域、家族構成等によって虐待等の件数に差があるのか情報があれば教えてください。

○事務局 国も虐待防止に関する取組強化を示しており、全国的に増えているものと認識しております。他市と比較して多いのか少ないのかを評価することはできないが、年々増

加しているところで評価するようにしております。ケアに関しては、核家族化や両親共働き等により家庭だけでケアできない状況が増えており、社会的支援が必要な方が多くなっていると感じております。

○委員 令和元年から虐待相談件数が増加しておりますが、対応するワーカーの人数を増やす等の機能拡大は検討されているのでしょうか。

○事務局 令和元年度に15名から18名に増員しましたが、令和3年度は欠員や産休等が生じております。支援に必要な職員を確保し、今後については相談件数に応じて検討してまいります。

○委員 職員一人当たり何件くらい対応しているのでしょうか。

○事務局 職員一人当たり40件から多い方で70件程度対応しております。

○委員 不登校の相談ができていない家庭のお子さんに対しては、どのような対策をしていますか。

○事務局 相談ができないご家庭については、学校側が把握し、アプローチしていただいております。家庭に問題があり支援が必要と判断された場合、子ども家庭支援センターに学校より連絡をいただき、必要な支援を行っております。

登校せずとも学びの場は提供できるため、学びの継続については学校等の関係機関と連携し、お子さんに合わせた支援を行っておりますので、未把握という状況はございません。

(3) 令和3年度地域子育て支援拠点事業の利用状況について

○会長 それでは、報告事項3について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (報告資料3の説明)

○会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。(意見なし)

(4) パルテノン多摩こどもひろばOLIVEの実施状況について

○会長 それでは、報告事項4について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (報告資料4の説明)

○会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。(意見なし)

(5) 学童クラブの令和4年4月入所の待機児童状況について

○会長 それでは、報告事項5について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 (報告資料5の説明)

○会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

○委員 連光寺小学童クラブと愛和小学童クラブの待機児童が解消した理由を教えてください。

愛宕南学童クラブ、南鶴牧小学童クラブについては、現1・2年生が進級した令和5年度に待機児童が発生する可能性があります。どのように解消するのでしょうか。

○事務局 待機児童解消の理由としては、待機児童の多くが3・4年生であり、進級に伴い学

童クラブの必要性が低くなったことと考えております。

愛宕南学童クラブの待機児童対策は、多摩第三小学校の改修とともに校内に学童クラブを移したいと考えております。施設改修までは、児童館のランドセル来館等で対応いたします。南鶴牧小学童クラブについても、落合児童館と唐木田児童館のランドセル来館等で対応いたします。

- 委員 愛宕南学童クラブの方がランドセル来館する場合の児童館はどこでしょうか。
- 事務局 愛宕児童館になります。学区によっては、桜ヶ丘児童館が対象の場合もあります。
- 委員 多摩第三小学校内に学童クラブが併設される構想はあるのか。
- 事務局 整備方法は未定であるが、学童クラブを校内に設置していただくよう教育委員会へ調整しております。

(6) 令和3年度放課後子ども教室事業の実績について

- 会長 それでは、報告事項6について事務局よりご説明をお願いいたします。
- 事務局 (報告資料6の説明)
- 会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
- 委員 放課後子ども教室をどのような位置づけで展開していくのでしょうか。
- 事務局 子どもが安全に過ごせる場所ということで、学童クラブはニーズが非常に高い状況であり、多摩市は多摩地域26市の中でも群を抜いて充実しております。一方、放課後子ども教室は、ボランティアに頼る形でありますので、少子高齢化による担い手不足が課題となっております。今後は、ボランティアだけではなく、仕事として実施していくことも視野に入れないと拡充は難しいと思慮されます。
- 委員 放課後子ども教室を拡充する考えはあるのでしょうか。
- 事務局 拡充したい意向はありますが、関係団体と調整している段階ですので、進展がありましたらご紹介させていただきます。
- 委員 放課後子ども教室を実施できなかったのは、担い手不足が原因なのか、小学校の協力が得られなかったのが原因なのか。
東愛宕中学校で放課後子ども教室を実施しているが、中学校の場合クラブ活動があるので放課後子ども教室と中学校が結びつかない。
緊急事態宣言や蔓延防止措置等の中、瓜生小学校がこれだけの延べ参加児童数で実施できたのはなぜでしょうか。
- 事務局 東愛宕中学校については、2年間実験的に実施したもので、放課後子ども教室の需要としては見ておりません。
瓜生小学校については、学校とこまめに連携を取り、緊急事態宣言等の合間に、校庭などの屋外で実施した結果と考えております。
- 委員 愛和小学校の放課後子ども教室は、外部委託されていたと思うが、今後、外部委託で放課後子ども教室を行う構想はありますか。
- 事務局 児童館の廃止等を見据え、放課後子ども教室の機能拡充目的で業務委託した経緯があります。廃止等の話がなくなった元年度で業務委託は終了し、以降は従来の放課後子ども教室のリーダーや安全サポートスタッフという地域ボランティアに頼る形に戻しております。

- 委員 放課後子ども教室の実施状況にこれほど差が生じていることに疑問があります。学童クラブと放課後子ども教室ともに課題解消に向けた方向性を示す必要があると思います。
- 事務局 放課後子ども教室については、ボランティアの方々の協力を得て実施しておりますので、実施状況に差が生じております。今後、子どもたちの放課後の過ごし方の選択肢を増やしていく場合には、放課後子ども教室の手法等を検討させていただき、方向性を示していきたいと考えております。
- 委員 学校や児童館が遠い子どもたちの遊び場として、放課後子ども教室が充実してほしいと思います。手法は未定だが、充足させていくことで間違いないのでしょうか。
- 事務局 多摩市は児童館と学童クラブに対して、他自治体より充実した財源を投入し量と質の確保を行っております。財源の見直しを行いながら放課後子ども教室の拡充を検討してまいります。
- 担い手は、ボランティアと委託の両面で拡充を検討しております。ボランティアについては、保護者などの新たな人員の開拓が必要となります。
- 委員 この問題はニュータウンの特徴が出ていると感じるので、類似例を研究していただければと思います。
- 事務局 ご意見ありがとうございます。

(7) 多摩市子ども・子育て会議の改選について

- 会長 それでは、報告事項7について事務局よりご説明をお願いいたします。
- 事務局 (報告資料7の説明)
- 会長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。(意見なし)

6 その他

- 会長 最後に、その他について事務局からお願いいたします。
- 事務局 次回第2回子ども・子育て会議につきましては、8月4日(木)を予定しております。
- 会長 それでは、本日の会議を終了したいと思います。ありがとうございました。